

# 阿賀浦コミ協だより

平成24年7月20日

広報第12号

阿賀浦コミュニティ協議会

## 『阿賀浦コミュニティづくり』



阿賀浦コミュニティ協議会

副会長 柿本 瞳

今日は、「阿賀浦コミュニティ協議会」について一言申し上げます。名称からして堅苦しく拒否と感心を示さない方も多いのでは？

初めての方に申し上げますが、この団体は阿賀小学校区の大安寺・中新田・東金沢・新金沢町の4つの自治会と東町の一つの町内会で構成されております。

今、少子高齢化・核家族化現象と地域の存在を忘れさせる生活様式が急速に進んでおります。確かにそれらはある制約から縛られる事がない反面・なにか物足りなく遠い過去の一コマと懐かしく思い比べる事がないでしょうか？

人が社会に出るまでの成長過程には、多くの社会との関わりがあります。まして、最近の社会が求める若者には、学力とその体験が必須要件として問われます。

それを育むには、地域の関わりも必要なのでは…

その体験が視野を広げ、遅く社会に出ていく対応力を養成するのではないのでしょうか？

また、地域は社会での勤めが終わり戻る場合でもポイントのひとつではないのでしょうか。

先に述べましたが新しく地縁を求める求めないのは個々の判断です。

しかし、出来れば地域社会の一員として過去の培った体験が生かされたり・あたらしい経験や交流を育むことで人生は一層充実し明るくなるのではないのでしょうか。孤独では、つまりません。

今、本当に考えさせられる防災も、地域ぐるみで身を守る協力姿勢です。その意味からでも地域への参加は、年代に関係なく極めて重要といえます。人と人とのコミュニケーションは常に必要です。いちど阿賀浦コミュニティに参加してこれからの地域を創り、そして自分を鍛えるための一歩にしてみませんか？

## 秋葉区コミュニティ連絡協議会総会・研修会開催

秋葉区に組織されている全コミュニティ協議会で組織され、情報交換並びに交流等を目的に原則年1回開催されているものです。

去る、6月25日(月)午後3時から、割烹「一楽」を会場に開催、前年度事業報告、決算報告そして、新年度事業計画、新年度予算議事、その後、活動事例発表がありました。

このたびは、阿賀浦コミュニティ協議会早川事務局長から「地域交流について」をテーマに、「絆」をスローガンにした「世代交流盆踊り大会」をはじめ、各部の事業について発表されましたのでご紹介します。



平成24年度の行事を紹介します。各大会は開催の都度ご案内いたしますので、多くの参加を期待しております。

| 行 事  | 実 施 時 期               | 開 催 場 所            |
|--|-----------------------|--------------------|
| ゲートボール大会                                       | 6月3日(日) 1位東金沢         | 七日町屋内ゲートボール場       |
| 盆 踊 り 大 会                                      | 8月11日(土)              | 地域学園グラウンド(昨年と同じ場所) |
| 凧作り体験と凧あげ                                      | 9月16日(日)              | 阿賀小学校体育館           |
| ソフトボール大会                                       | 9月29日(土) 予備日10月30日    | 阿賀小学校グラウンド         |
| ソフトバレー大会                                       | 9月(阿賀浦スポーツ振興会主催)      | 阿賀小学校体育館           |
| 芸 能 祭  | 10月14日(日)             | 新津第五中学校体育館         |
| 史 跡 巡 り  | 10月28日(日)             | 次項史跡巡り情報参照         |
| フロアカーリング大会                                     | 11月11日(日)             | B&G海洋センター          |
| キックベースボール大会                                    | 11月11日(日)             |                    |
| 阿賀浦ファイブ<br>健康づくり事業<br>① ロコモ体操<br>② ラジオ体操100日運動 | 6月5日～毎月第1火曜日<br>6月1日～ | ① 地域学園体育館(※1)      |

(※1) 10月から来年3月まで勤労青少年ホーム

## 「盆踊り大会」の開催について

第3回阿賀浦コミ協、阿賀浦社会福祉協議会共催の盆踊り大会が下記のとおり開催されます。400年の伝統を持つ優雅な踊り「新津松坂」。流ちょうな笛、太鼓に合わせ正調あれば仮装ありと盛り上がることうけ合い。豪華参加賞の用意あり。奮って参加願います。



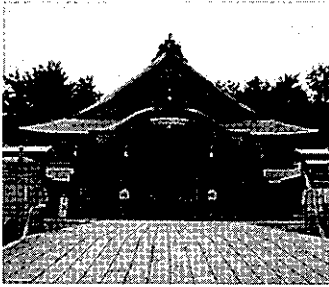
### 記

- 日 時 平成24年8月11日(土) 午後6時から8時30分
- 場 所 地域学園グラウンド(昨年と同じ場所) 雨天の場合地域学園体育館

\* この催しは、新潟市地域活動補助金 を受けて開催。  
\* 駐車場がほとんどないため、乗り合わせでお越しいただくか、車での来場は、ご遠慮ください。

## 平成24年度 史跡めぐりについて

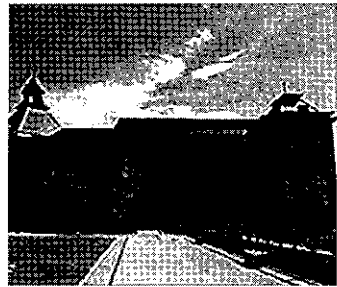
— 荻島古戦場、戊辰戦争慰霊碑のある「護国神社」、新潟市博物館などを予定 —



護国神社



「荻島古戦場」跡の碑



新潟市歴史博物館

### 戊辰の役「荻島古戦場」跡の碑

岡 三 郎

・能代川に架かる秋葉区荻島と大蔵を結ぶ大島橋の荻島側のたもとに、一基の碑が建っている。

この地は北越戊辰戦争の折に、新津側と横越側が川を隔てた唯一の古戦場として名を止めた場所として伝えられている。

慶応4年（1868）7月25日、新政府軍は太夫浜から松ヶ崎浜へかけて上陸した。

上陸したのは長州、薩摩、芸州、明石の四藩といわれ、およそ800人から900人程だったという。25日夜には更に後続も到着。そして29日には 新政府軍による新潟が制圧される。この間に米沢藩家老で新潟軍事総督の色部長門が討死をしている。

その頃の新津周辺の軍事的、社会的動静を伝える資料を総合すると、前年10月に徳川幕府の大政奉還が勅許されて王政復古が成立したことにより、新政府筋では勅使を各地に派遣し鎮撫の意を伝えているが、二世紀半にも及ぶ徳川幕府の力も残っていて容易ではなかった。とりわけ本県の長岡藩、隣国の会津藩、米沢藩などは幕府との関連もある地域である。

そんな中での時代の幕開けとなるのである。5月頃から米沢藩軍が相次いで新津に入り、長岡方面への戦いに陸続と続くうごきがある。街中では戦争が始まるとの風聞が広がり騒然とし始めていた。

各地には旧思を忘れずに幕府を助けるとか、それとも新政府に協力するかで微妙な動きを続けていたのである。

やがて年が明けると「<sup>つちのえ</sup>戊・<sup>たつ</sup>辰」の年になった。薩長を中心とする新政府軍と奥羽越列藩同盟軍とが戦う長岡城攻略や会津若松城攻めに象徴される戦が始まる。この戦争を干支に因んで戊辰戦争とか北越戊辰戦争と呼んでいる。

慶応4年7月29日、荻島のわたり場を固めていた米沢藩の嶋良太郎という者を隊長とする一隊が、結新田の名主笠原敬助方を訪れて、賊軍（新政府軍）と対戦するため人夫、兵糧などの調達を申し入れたが、敬助は言を左右にして確答を延していたという。

すでに25日太夫浜方面に上陸していた新政府側の福知山藩軍と芸州藩軍の一隊は、対岸の二本木側に陣を構えていた。お互いに敵情の詳細を知らぬままに「多数終結」と思い込んでいたようで、お互いの渡船場に台場を築き、川をはさんで対峙していた。7月19日夕刻から終夜に及ぶ砲撃戦となり、負傷者も出るに及ぶ。翌8月1日明け方、新政府軍は密かに船で下流の車場新田へ渡り、一斉に攻撃して荻島に至り新政府軍は凱歌を挙げる事ができた。

この戦いの中、二本木三ツ口の渡し場にあった地蔵尊の頭部が銃撃戦で欠けたといわれて、今に残る。また結新田名主敬助宅は放火され、一物も残さず全焼したという。

# 『特集 阿賀小学校情報』

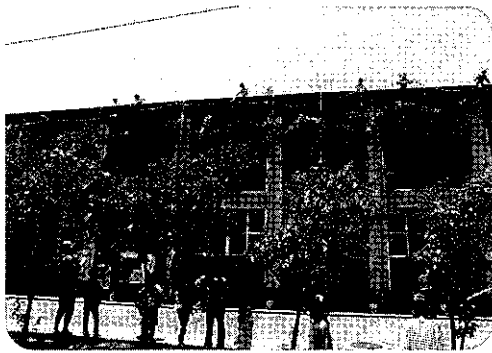
「阿賀小学校」が本年30周年を向かえるということで、現在、学校では創立30周年記念事業を計画しているとのこと。

地域の学校のことから、広く地域の方々にもお知らせしようと、現在の事業概要についてお聞きしてきました。

## 『明後日朝顔プロジェクト』

「阿賀小学校の30歳の誕生日を  
朝顔で「っぱ」にしてお祝いしよう

～つながろう！ふくしま・にいがた  
明後日朝顔～ をテーマとして  
学校の周りを明後日朝顔で覆います



4月から、保護者、地域の皆様から 古着・布を寄付いただき、5月連休明けから地域・保護者・先生とスプライスロープづくり、6月24日（日）朝顔苗植えとメッセージづくり、低学年棟・玄関前に23本、給食センターに18本の苗が植えられました。

また、給食センター（高速道路側）には、布きれて作られたメッセージ「ツナガロウ+フクシマ!!」の幕が掲げられました。

次の意味が込められているそうです「福島から昇る朝日に向かって花開く明後日朝顔。阿賀小の子どもたちも朝顔と同じように福島から昇る朝日に照らされて学校生活を送ります。小学校で育てる朝顔は、高速道路で福島から来る人々を優しく迎え入れ、福島に向かう人を温かく送ります。」



期日：10月27日(土) 展覧会当日、明後日朝顔の収穫祭（種の採取・袋詰め）

こどもたちはじめ地域へも配布を予定しているとのこと。

記念講演：「水と土の芸術祭」講師 日比野克彦氏の講演

テーマ：『未来を創る君たちへ』

## 川柳コーナー

- 溝堀機 豊作ねがい 溝を切る
- 朝露に 真っ赤に熟す 路地いちご
- 梅雨空に 紫陽花の花 今見ごろ
- 玉葱の 収穫作業 爺と婆
- 花街道 道行く人も 立ち止まる

— 詠み人 夏井政二 —

## 編集後記

阿賀小学校の校舎の周りに明後日朝顔が植えられました。学校周辺を通行される際に成長過程を見ていただきたいと思いますし、「ツガナロウ+フクシマ」の幕を見て、被災された福島の皆さん方の一日も早い復興・復旧をこどもたちと一緒に願っています。

広報部一同